

令和6年度 県立小出特別支援学校 経営方針

目指す学校の姿

心ゆたかに生きる子どもが育つ学校

教育目標

じょうぶな子(健康) 自分のできる子(自立)
なかよくできる子(社会性) がんばる子(意欲)

重点目標

1 ひとりひとりを丁寧に見取り、大切に育てる

- (1) ひとりひとりの「豊かな社会参加と自立」を見据えた教育の推進
- (2) ひとりひとりの人権を尊重し心に寄り添う支援の充実
- (3) 障害特性を理解し教育的ニーズを的確に捉えた指導の実践

2 子どもや保護者にとっての安全・安心の場をつくる

- (1) 生命の尊重を第一とした安全教育と事故防止対策、緊急対応策の徹底
- (2) 各種感染症、自然災害等に対する対策の徹底
- (3) 医療的ケア、保健・性、食の指導、食物アレルギー対策の確実な実施と点検
- (4) 生徒指導上の問題の未然防止と早期発見・早期対応

3 子どもが意欲的・創造的に学ぶ環境をつくる

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの往還による授業改善サイクルの構築
- (2) 日常的で効果的な ICT 教育の推進
- (3) 多様な関わりの中で学び合う場の設定
- (4) 子どもたちにとって意味のある出会いの設定

4 保護者・関係機関・地域と信頼に基づいた連携をつくる

- (1) 保護者・魚沼学園との情報共有と連携による支援の充実
- (2) 行政・福祉・医療等関係機関との連携による支援の充実
- (3) 地域の特別支援教育の充実に向けたセンター的機能の着実な取組
- (4) 教育活動の積極的な発信

5 地域の中でゆたかに生きる力を身に付けるキャリア教育を推進する

- (1) 学級や学校、地域等に貢献する学習活動を通じた、人の役に立つ験の積み重ねと、役に立ちたいという意欲の醸成
- (2) 小学部、中学部、高等部へと、ライフステージに応じた系統的な学びと経験の場の設定

目指す教職員の姿

- 様々な職種の教職員が、子どもたちの確かな成長のために、それぞれの良さを互いに発揮し合う。
- 子どもたちの良さをたくさん見付け、たくさん褒め、みんなで共有して喜びを分かち合う。
- 心身共に健康でワークライフバランスのとれた、メリハリのある働き方をする。

子ども

「通ってよかった！」

保護者

「通わせてよかった！」

教職員

「勤めてよかった！」